

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：ヘルパーステーション ながひさ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

■定期巡回・随時対応型訪問介護看護

日 時： 令和1年9月17日（火曜日）15時30分～16時

場 所： 和かち逢う家 （ホームヘルパーステーションながひさ）

出席者：7名

利用者代表	0人	知見者・地域代表	1人
利用者家族	0人	大田市職員	2人
医療関係者	1人	連携訪問看護	1人
事業所職員（職名：管理者・サービス責任者）			2人

欠席者 2人

報告事項：

利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

月	利用者数
4月	24名
5月	23名
6月	24名
7月	25名
8月	23名

②要介護度

【介護度別】

	4月	5月	6月	7月	8月
要介護1	8名	8名	8名	7名	8名
要介護2	7名	6名	6名	7名	5名
要介護3	2名	3名	3名	3名	3名
要介護4	5名	5名	5名	6名	6名
要介護5	2名	1名	2名	2名	1名
計	24名	23名	24名	25名	23名

③男女比率

	4月	5月	6月	7月	8月
男性	7名	6名	5名	5名	5名
女性	17名	17名	19名	20名	18名
計	24名	23名	24名	25名	23名

④年齢

	4月	5月	6月	7月	8月
50代				1名	
70代	1名	2名	2名	2名	2名
80代	12名	12名	13名	13名	12名
90代	11名	9名	9名	9名	9名
計	24名	23名	24名	25名	23名

⑤地域別利用

令和1年7月のみ 1名長久地域の方

その他の月は和かち逢う家入居者のみ利用されている。

議 題：

1 活動状況報告

- ・ 現在、23 名の方が定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用されている。
(新規 4月：2名 5月：2名 6月：1名 7月：2名 8月：1名)
- ・ 7月に外部利用者1名の定期巡回・随時対応型訪問介護看護開始となる。
外部利用者については、痛み等の訴えや体調等を考慮し入退院されることが多くあり電話対応では難しく頻回の訪問を行っていた。病院に入院されサービス中止となる。

【提供実績】

月	定期巡回	随時対応	随時対応1日平均
4月	3373回	76回	2.5回
5月	3409回	35回	1.1回
6月	3782回	26回	0.8回
7月	3556回	72回	2.3回
8月	3874回	29回	1.0回

2 意見、要望等

「事業所から」

- ・ 現状職員の補充があっても辞める人もいるため負担が多くなっている。
ADLの状態等により2人介助の入浴介助が必要であり人手が足りない。
- ・ 外部の利用者については、今回初めてのケースであり勉強不足・夜間の対応・人員不足等の課題が出てきた。課題を改善し今後につなげていきたい。

「訪問看護から」

- ・ 月1回のモニタリング訪問が減り4名となるが、薬のやり取りが難しい。入院後ADLが下がるため褥瘡・誤嚥性肺炎等起こる可能性がある。良くなるケースもあるがリスクが高い。

「知見者・地域代表から」

- ・ 今回の事例（良くなったケース）は利用者自身で出来る事が増えるという事はお互いに励みになると思う。今後も自立支援を見出せるケアが必要。
- ・ 一人暮らしの方の発見の遅れ、身寄りのない方やお金がない・帰る家もない方もおられる。定期巡回・随時対応型訪問介護看護でないと対応が難しい。

「大田市役所から」

- ・ マンパワー不足、人間関係で辞める人が多い。
介護職員不足はどこの事業所も同じ状況である。各事業所で人員募集をしていく

3 今後について

- ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用者が増え続ける中で、マンパワー不足となっている。
ケア内容の評価を行いながら自立支援を見つけ、個々合ったサービス算定を実施していく。
- ・ 自己評価を9月に実施し、結果を3月の会議にて報告する。

4 その他

次回 令和2年3月23日（月）15:30～開催予定